

平成28年度決算認定に係る施策評価等に関する提言

【産業建設委員会】

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
1-1 支え、育む産業基盤づくり	基本目標① 若者が帰ってこられる産業をつくる
<p><b>【施策全体の評価】</b> C あまり進まなかった  <b>理由</b>・産業団地が完売するなど、産業基盤づくり全体に向けた取り組み展開は評価できるが、全体とするとあまり進んでいない。</p> <p><b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。</p> <p><b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リニア、三遠南信自動車道開通による高速交通網時代を見据え、当地区の産業構造等への影響や、変化も見越した産業の基盤づくりも必要。（例えば、卸売団地を含めた流通や産業団地等を含めて考えていくことが必要。）</li> </ul> <p><b>【別の視点からの取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業経済政策における連携、補完性を高め、事業推進を図る観点のひとつとして、産業経済部の組織力、総合力を高めるための事務所のあり方を検証。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「I-PORT」はインキュベート機能であると同時に、内貨循環を高める役割であることを前面に出すべき。設置がより広く認識されるとともに、しっかりと活用されるための体制づくりを進められたい。</li> <li>・ 企業誘致や、起業支援に繋がるよう、空き店舗等も含めたいわゆる産業用地に関する情報を整理し、発信していく体制づくりに取り組みたい。</li> <li>・ 若者が帰ってこられる産業をつくることを目標とするならば、「若者の志向する産業（就職口）とは何か」を捉え、地域産業の実態との乖離等を勘案し、その上で政策的に何を支え、育むか取り組まれない。</li> </ul>

平成28年度決算認定に係る施策評価等に関する提言

【産業建設委員会】

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
1-2未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化	基本目標① 若者が帰ってこられる産業をつくる
<p><b>【施策全体の評価】</b> B ある程度進んだ</p> <p><b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。</p> <p><b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農林業従事者、技能労働者の高齢化や後継者不足などに伴う地域産業を担う人材の育成。</li> <li>・ 産業振興において、行政が支援することと事業者頑張ってもらうことの区分をどこに置くかは判断が難しい。その中で、現状の必要な支援を見定め、振興につなげていくことが大きな課題。</li> <li>・ リニア・三遠南信自動車道時代を見越した地域産業の魅力とは何か、差別感が出せる産業は何かを求めていく視点が必要。</li> </ul> <p><b>【別の視点からの取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業出荷額の増加や、農産物の付加価値を高める視点からICT化の推進支援の取り組み。</li> <li>・ 高校生だけでなく、小中学校の頃から職に親しみ職業意識を育む取り組み。</li> <li>・ ものづくり高度人材育成事業は特定産業に偏りやすいので、汎用技術などの分野に門戸を広げる取り組みも検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業従事者の労働力の軽減や所得向上にむけ、学術機関などと連携し、農業のICT化について調査研究に取り組みきたい。</li> <li>・ 技能労働者の育成、後継者の確保の観点（空家の利活用の観点）から、在来工法家屋の修繕を奨励する施策に取り組みきたい。</li> <li>・ 農業後継者の育成特に、人材育成のための投資と農業後継者のネットワーク化など、魅力ある農業を目指せる取り組みなども検討されたい。</li> </ul>

平成28年度決算認定に係る施策評価等に関する提言

【産業建設委員会】

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
1-3 新しい力による新しい産業づくり	基本目標① 若者が帰ってこられる産業をつくる
<p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ</p> <p>【課題認識】 【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <p>【方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「リニア工事等のビジネスチャンスを活かす」は起業支援のみならず産業政策全般における課題</li> <li>・ 新たな産業振興の拠点整備事業については、より多くの人が利活用できる施設とするため、市民への丁寧な情報発信と、移転施設の機能拡充が行えるよう県との調整を図ることが課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たな産業振興の拠点形成が地域産業の高度化に繋がる具体的な施策を展開し、精密・電子・機械加工・金型技術などをベースにした新たなチャレンジに繋がる政策がないかを検証されたい。</li> <li>・ リニア工事等の進捗による産業界に与える影響について、検討を始められたい。</li> </ul>
8-4 活気のある街づくりの推進	基本目標②「飯田市への人の流れをつくる」
<p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ</p> <p>【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活気ある街から価値ある街形成の観点が必要か。</li> <li>・ 中心市街地の機能が他の拠点地区と競合しないよう調整が必要。</li> <li>・ 第3期中心市街地活性化基本計画の策定に向けて、地域住民が一体となって考えるための手法の検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「小さな世界都市」構築に向け、まずは案内標識などから、デザインコード(デザイン方針)の研究を始められたい。</li> </ul>

平成28年度決算認定に係る施策評価等に関する提言

【産業建設委員会】

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
9-2 情報共有の促進	基本目標②「飯田市への人の流れをつくる」
<p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ</p> <p>【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内から外への情報発信ばかりでなく、20地区それぞれが他地区の情報を共有できていない。</li> <li>・ 市民が理解しやすいよう、情報の「質」の向上にも目を向ける。市民が当たり前すぎて盲点となっているものを情報発信する人の感性で「こんなところが飯田にはある」と発信して行くことが必要では。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙媒体（広報いいだなど）と電子的情報（SNSなど）の使い分けを効果的に図る。特に紙媒体は限られたスペースでどのような情報を発信するのがベターなのかを精査。また「暮らしの情報」と「政策の発信」はそれぞれどの発信手段が適切かも精査し、一定のコスト負担を念頭に置きながら民間媒体に掲載する方法も検討されたい。</li> <li>・ 20地区での「田舎へ還ろう戦略」の取り組みが始まる今、地区での取り組み情報にあわせ、地区の魅力や、観光情報、学校行事など、各地区の情報を総合的に発信するようなコンテンツづくりに取り組まされたい。</li> </ul>
4-1 災害対策の推進	基本目標⑩「災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める」
<p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ</p> <p>【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災アドバイザーなど主導的役割を担える人材の有無は地域によって格差があり、地域の実情にあった育成強化が必要。</li> </ul> <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来を担う自主防災リーダーとして、防災士資格取得要件を満たした者に資格取得の促進とスキルアップするための場を設けることはもちろんのこと、女性防災リーダー育成など各地区において防災支援の一翼を担える体制づくりが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在の防災訓練について、訓練のための訓練になっていないか、との声があることから、マニュアルなどの見直しも含め、それぞれの地区の実情に合った訓練の方法を、自主防災会などと協働し検討し、防災訓練のあり方を見直すことも検討されたい。</li> </ul>

# 平成28年度決算認定に係る施策評価等に関する提言

【産業建設委員会】

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
<p>4-5 居住基盤の向上</p>	<p>基本目標⑪「災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める」</p>
<p><b>【施策全体の評価】</b> B ある程度進んだ  <b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。  <b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民満足度調査（成果指標）は掴み所がないところでは有るが、前年比6%減となった点に焦点を当て、その要因をつかむことから、さらなる展望を見いだせるのでは。</li> <li>・ 近年のゲリラ豪雨にみられるように、短時間で局地的な降雨により河川が一気に増水することが多くなってきているなか、道路側溝や農業井水の排水能力が追従していない箇所がまだまだ見受けられる。</li> <li>・ ハード事業推進から維持管理へと事業がシフトしている中で、生活環境の保全および公衆衛生の向上を図るため、合併浄化槽設置後の適切な維持管理が課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下水道事業は維持の時代に入っている。本格的な維持の時代を見越し、施設の維持管理（存続）に関しどのように対応していくか検討を始められたい。</li> <li>・ 生活環境の保全および公衆衛生の向上を図る視点から、合併浄化槽の維持管理に関し県との役割を明確にしつつ取り組まれたい。</li> </ul>
<p>4-4 交通機関と道路の充実</p>	<p>基本目標⑫「リニア時代を支える都市基盤を整備する」</p>
<p><b>【施策全体の評価】</b> B ある程度進んだ  <b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。  <b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路、河川の維持整備は、市民の利便性の向上、危険性の回避の観点から市民要望も多い。要望の全体像の把握と、長期的な整備修繕の計画化（予算化）が求められている。</li> <li>・ 地域公共交通は、利用者の視点から見れば「便数が減る⇒不便になるから利用しない」という負のスパイラルを繰り返しており、持続可能な地域公共交通を確実に実現することが課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後、リニア・三遠南信自動車道関連の事業推進のために建設関連費が集中していく中、市民生活や安全にとって要望の高い道路・河川予算措置についてどのように住み分けていくのか一定の方向を定め、地域全体の道路河川整備に不足が生じないことを考慮されたい。</li> <li>・ 各自動車メーカーでは、自動運転システムの実用化に向け研究開発が進んでいる。リニアが開業する10年後を見据えて、自動運転による新交通システム活用に向けた研究を検討されたい。</li> </ul>

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
8-3 計画的な空間利用の推進	基本目標⑫「リニア時代を支える都市基盤を整備する」
<p><b>【施策全体の評価】</b> B ある程度進んだ</p> <p><b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。</p> <p><b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>危険な空き家対策は所有者との接点が遠隔地居住等で難しい面もあるが、放置しておくことはできない課題である。一方で、利用可能な空き家についても、所有者の意向により中々UIターン者への貸出し等につながっていかない。市民の利便性の向上、危険性の回避の観点から市民要望の全体像の把握と、長期的な整備修繕の計画化が求められている。</li> </ul> <p><b>【別の視点からの取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リニア時代を支える都市基盤を整備していくにあたり、危険な空き家の解消は従来にも増して、解体費用の補助制度の検討など戦略計画をもって対応していく必要がある。また、利活用可能な空き家についても、UIターン者への貸出し等の促進が図られるための戦略計画をもった対応が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リニア駅を取り巻く周辺の土地利用方針策定において、立地適正化計画と併せ、都市計画の視点から市側の考えを積極的に示されたい。</li> <li>外部からの交流人口増加を推進するための、市全域に渡るデザインコード(デザイン方針)について検討を進められたい。</li> </ul>

平成 29 年 9 月 4 日

産業建設委員長 様

吉川秋利

平成 28 年度決算認定に係る施策評価等に関する提言(案)に対する意見書

平成 29 年度行政評価実施要項の規定に基づき、下記のとおり意見書を提出しますので、検討をお願いします。

## 記

### 1 対象の施策評価・提言案

施策 1-3「新しい力による新しい産業づくり」の評価に基づく「いいだ未来デザイン 2028 戦略計画」への提言案

### 2 意見

- (1) 産業振興の拠点整備をどうするか、高度人材の育成をどのように達成するかが課題だと思います。
- (2) 航空宇宙産業を先導役にすることにより、精密・電子・機械加工等の技術向上と産業のすそ野の拡大を図るべきであって、需要が無ければ関連企業だけで発展することはできない。
- (3) リニア工事等の進捗による産業界に与える影響も大切であるが、工事の最盛期約 6 年程度が過ぎると工事自体の経済波及効果も低下傾向になると考えられる。飯田下伊那地域全体のリニア効果による発展についても視点を向けるべきと考える。